

## 会 議 録 (概要)

会議の名称	令和元年度 第1回 佐渡市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和元年5月28日(火) 10時00分開会 11時30分閉会
場所	あいぽーと佐渡 1階 ホール
議題	<p>(1) 報告</p> <p>①バス路線・タクシーの現状について</p> <p>②平成30年度 事業報告及び決算報告について</p> <p>③平成30年度 監査報告について</p> <p>(2) 協議</p> <p>①【社会実験】乗合タクシー事業について</p> <p>②【社会実験】スクールバス混乗事業について</p> <p>③地域内フィーダー系統確保維持事業 認定申請について (国仲・金丸線、宿根木線)</p> <p>④路線バス運賃の改定について</p> <p>⑤宿根木線及び度津線の運行について</p> <p>⑥令和元年度 補正予算(案)について</p>
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡市 副市長 伊藤 光</li> <li>・新潟交通佐渡株式会社 代表取締役社長 大嶋 徳之</li> <li>・佐渡汽船株式会社 本社統括部長 野田 悟</li> <li>・新潟交通佐渡労働組合 執行委員長 金子 秀道</li> <li>・北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企画専門官 渡邊 毅士 (代理：新潟運輸支局 運輸企画専門官 塩原 隆太郎)</li> <li>・新潟県佐渡地域振興局 地域整備部長 松川 真 (代理：佐渡地域振興局地域整備部 計画調整課長 服部 忍)</li> <li>・佐渡東警察署 署長 渡辺 将 (代理：佐渡東警察署 交通課長 二ノ宮 亮)</li> <li>・佐渡市民生委員児童委員協議会 委員 後藤 幸次郎</li> <li>・社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会 常務理事 塚本 寿一</li> <li>・佐渡市老人クラブ連合会 顧問 計良 益夫</li> <li>・一般社団法人佐渡観光交流機構 常務理事 加藤 透 (事務局)</li> <li>・佐渡市産業観光部交通政策課 課長 高津 孔</li> <li>・佐渡市産業観光部交通政策課 課長補佐 計良 好昭</li> <li>・佐渡市産業観光部交通政策課交通対策係 主任 木下 幸一</li> </ul>

	<p>(オブザーバー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡市市民福祉部社会福祉課 課長 大屋 広幸</li> <li>・佐渡市市民福祉部高齢福祉課 課長 岩崎 洋昭</li> <li>・佐渡市市民福祉部高齢福祉課 地域包括ケア推進室 地域包括ケア推進係 高野 康栄</li> <li>・佐渡市産業観光部観光振興課 課長補佐 金子 明弘</li> <li>・佐渡市建設部建設課 課長 清水 正人</li> <li>・佐渡市教育委員会学校教育課 課長 山田 裕之</li> </ul> <p>(出席者数) 委員 11 名、事務局 3 名、オブザーバー 6 名</p>
会議資料	<p>資料No. 1 バス路線・タクシーの現状について</p> <p>資料No. 2 平成 30 年度事業報告及び決算報告について</p> <p>資料No. 3 平成 30 年度監査報告について</p> <p>資料No. 4 【社会実験】乗合タクシー事業について</p> <p>資料No. 5 【社会実験】スクールバス混乗事業について</p> <p>資料No. 6 地域内フィーダー系統確保維持事業認定申請について</p> <p>資料No. 7 路線バス運賃の改定について</p> <p>資料No. 8 宿根木線及び度津線の運行について</p> <p>資料No. 9 令和元年度 補正予算 (案) について</p>
傍聴人の数	0 名
備考	報道機関 3 社

会議の概要 (発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
伊藤会長	<p>≪ 10 : 00 開会 ≫</p> <p><b>開会挨拶</b></p> <p>公共交通空白地の解消に向けた社会実験を実施するほか、今後の路線バスのあり方などについて提案があるので、委員の皆様から活発な審議をお願いしたい。</p>
高津事務局長	<p><b>新委員紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡汽船株式会社本社統括部長 野田 悟 様</li> <li>・北陸信越運輸局新潟運輸支局首席運輸企画専門官 渡邊 毅士 様</li> <li>・新潟県佐渡地域振興局地域整備部長 松川 真 様</li> <li>・佐渡西警察署署長 西野 剛 様</li> <li>・佐渡東警察署署長 渡辺 将 様 以上 5 名</li> </ul>
事務局 木下	<p><b>議事</b></p> <p>(1) 報告</p> <p>①バス路線・タクシーの現状について</p>

<p>大嶋委員</p>	<p>(資料No. 1 に基づき説明)</p> <p>(補足説明)</p> <p>近況をご報告させていただきます。説明いただいたとおり、利用者数は減少している。佐渡市の人口も千人ずつ年々減少、収入も減っている。その中、佐渡市と連携し実施している高齢者割引サービスや障がい者割引、病院乗入の割引、昨年から実施した学生ワイドフリー定期券など、施策を長年地道にやってきた効果が表れてきた成果として、収入は毎年下がってきているものの、その減り方が鈍化してきている。</p> <p>あと、観光流動人口から、4月は観光二次が増え、4月の単月だけの収入でいえば昨年を上回っている。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>事務局 木下</p>	<p>②平成 30 年度事業報告及び決算報告について (資料No. 2 に基づき説明)</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>塚本委員 (監査委員)</p>	<p>③平成 30 年度監査報告について (資料No. 3 に基づき説明)</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>事務局 木下</p>	<p><b>議事</b></p> <p><b>(2) 協議</b></p> <p>①【社会実験】乗合タクシー事業について (資料No. 4 に基づき説明)</p>
<p>計良委員</p>	<p>コース図のナンバーがふってある場所がいわゆる停留所ということでもいいのか。</p>
<p>事務局 木下</p>	<p>そのとおり。乗合タクシー事業は高齢福祉課と連携し実施しているが、高齢福祉課で事前に地域のサロンで意向を調査してもらい、停留所の場所を公民館等に設定している。また、金北の里では、運動教室なども実施されているので、参加される方の移動手段として停留所を設定した。</p>

計良委員	<p>例えば金北の里を利用したい方で、その場から数百メートル離れた場所に住んでいる場合、金北の里へ直接行くのか、最寄、この場合⑤上野口公民館へ行った方がいいのかという問題がある。例えば、新潟交通佐渡さんの路線バスのようにフリー乗降ができれば解消できるのではないかと思うがいかがか。検討いただきたい。</p>
事務局 木下	<p>言われるとおりの問題もでてくる。今回の社会実験は国へ事業計画を提出し許可を得て実施するので、フリー乗降が可能なのか不明である。できなければこの問題を補完するため、停留所を増やすなど検討していきたい。</p>
大嶋委員	<p>数値的な目標を設定して実施すべきと考える。本事業単発というよりは、全体の公共交通のあり方を検討していく中での社会実験と捉えているので、ある程度数値的な結果をみて、継続の可否を判断していてももらいたい。</p>
事務局 木下	<p>目標設定をして事業を実施していく。</p>
後藤委員	<p>アンケート結果から外出しやすくなったと評価が得られた。高齢者にとって外出がとじこもり防止、認知症の進行を抑制するだとか健康維持といった有効なものである。</p> <p>高齢者がこれから増える、免許返納者が多くなることが考えられるので、こういったこと事業が更なる効果を期待、更なる調査、有益な展開を期待している。</p>
事務局 木下	<p>自分で買い物ができたり、会話が楽しめたといった声をきくことができた。引き続き市民の声をききながら事業を進めていきたい。</p> <p>・・・【社会実験】乗合タクシー事業について 承認・・・</p>
事務局 木下	<p>②【社会実験】スクールバス混乗事業について (資料No.5に基づき説明)</p>
大嶋社長	<p>小木地区を運行するスクールバスは、一部バス路線と重複するのではないか。そのあたりの考えは。</p>
事務局 木下	<p>重複する部分がある。この混乗事業を継続していくことを考えると、重複路線は外すべきである。今後もう少し検討が必要である。</p> <p>・・・【社会実験】スクールバス混乗事業について 承認・・・</p>

事務局 木下	<p>③地域内フィーダー系統確保維持事業認定申請について （国仲・金丸線、宿根木線） （資料No.6に基づき説明）</p> <p>・・・地域内フィーダー系統確保維持事業認定申請について （国仲・金丸線、宿根木線）承認・・・</p>
事務局 木下	<p>④路線バス運賃の改定について （資料No.7に基づき説明）</p> <p>・・・路線バス運賃の改定について 承認・・・</p>
事務局 木下	<p>⑤宿根木線及び度津線の運行について （資料No.8に基づき説明）</p>
大嶋委員	<p>地域内フィーダー系統路線の宿根木線との関係はどのように考えているか。</p>
事務局 木下	<p>これから検討していく路線であり、現状の路線を維持するのか、他の方法での路線維持なのか、運行形態が見えてきた段階で委員の皆様と協議、またフィーダー系統路線でもあるので国とも協議をしながら、最善の路線維持を図っていきたい。</p>
計良委員	<p>公共交通は生活に直結する問題である。佐渡全体の公共交通がこれ以上低下しない施策、交通政策だけではなく、買い物弱者、病院など、専門的な知識を集めて、総合的な計画を考えていただきたい。</p>
伊藤会長	<p>公共交通を考える場ではあるが、買い物の関係であれば便利な移動販売があったりするが、一方では、高齢者は外出することが大切であったりもするので総合的に市の施策に反映していきたい。</p> <p>・・・宿根木線及び度津線の運行について 承認・・・</p>
事務局 木下	<p>⑥令和元年度 補正予算（案）について （資料No.9に基づき説明）</p>
大嶋委員	<p>調査事業の学生定期券予算は、収入の補填が含まれているということでのよいのか。</p>
事務局 木下	<p>そのとおり。</p>

後藤委員	<p>当初予算では、病院乗り入れ便チラシは自前で作成するため、消耗品費に予算計上した計画であった。補正によりチラシ作成の予算が計上されたが、消耗品費との兼ね合いはどう考えるのか。</p>
事務局 木下	<p>今回計上した予算は1回分。年2回発行するため、うち1回は消耗品費で対応と考えている。</p> <p>今後の事業進捗により予算の補正等が必要になれば協議いただくことを考えている。</p>
松川委員 (代理：服部)	<p>学生ワイドフリー定期券事業は4月からスタートされているのか。昨年から比べると半年延びているとの理解でいいか。</p>
事務局 木下	<p>そのとおり。</p>
松川委員 (代理：服部)	<p>足りない部分の補填という考えだろうが、できれば利用者が増え、ワイドフリー定期券によって、定期券収入が前よりも増えることが望ましい。今後の見通しとして、今後どの程度どうなればという目標等はあるか。</p>
事務局 木下	<p>本線利用分の補填。学生も年々減少している状況だが、本線沿いの中学、高校、専門学校の利用促進を図っていきたい。</p>
高津事務局長	<p>村上市で学生の定期券を半額にした、3年後には2倍以上に利用者が増えた。学生が減ってきているのは事実だが、自家用車での送迎が多い現状もある。アンケートからバス運賃が高く送迎しているといった実態もあるので、値段を下げ、そういった学生を取り込んでいきたいと考えている。少なくとも3年は実施し、その結果をみていきたい。</p>
松川委員 (代理：服部)	<p>利用者が増えることはいいことだが、分母が減る中、結果として減収になると考える。3年の中で線引きを検討していくことでよいか。</p>
事務局 木下	<p>そのように考えている。</p> <p>・・・令和元年度 補正予算（案）について 承認・・・</p>

<p>計良委員</p> <p>高津事務局長</p>	<p>その他</p> <p>バス路線のことが主体である。佐渡全体のことを考えると、船の問題と空の問題、交通に関わってくる。ここでは協議したことがないがどうなのか。</p> <p>船については、新潟県、国、関係者が集まった佐渡航路確保維持改善協議会があり、航路についてはそこで協議されている。この協議会では佐渡島内の陸上交通に限って協議する場となっている。</p> <p>《 11 : 30 閉会 》</p>
---------------------------	---